交通事故ゼロへ決意新た

「生命の尊さを再認識しよう」

去る十月十五日市公会堂で行なわれた「交通事故ゼロの日制定市民大会」で、各分野の代表が交通事故ゼロへの決意を新たにし、力強く事故ぼく滅への宣言をしました。

各代表者は「生命の尊さを認識しよう」「ちょっとした不注意が事故をまねく」――と強調し、「毎月十五日の事故ゼロの日を機に、市民ぐるみで事故をなくそう」――と結びました。

以下その内容を要約してご紹介します。

広く事故追放のこだまを

地域代表（古町九）　知野修治さん

交通事故によって尊い生命を失なうことは当事者のみならず、社会全体の損失である。

日常生活から事故を防止するには、交通環境の整備充実など市当局の施策に待たねばならない点も多くあるが、いまや個人個人、そして地域社会の問題である。あらためて皆んなが何をなすべきかを真剣に考えてみる必要がある。事故は決して偶発するものではない。

家庭から町内へ、そして市全体に交通事故追放のこだまを拡大していかねばならない。わたくしどもは、地域母の会、PTA補導部その他関係諸団体との有機的な連けいを図りながら、交通事故ゼロへの強力な運動を展開していく。

違反のない世の中を

子供代表（白新中）　細山健さん

右も左も交通戦争。車がなくなれば交通事故もなくなるのだが、そんなこともいっていられない。

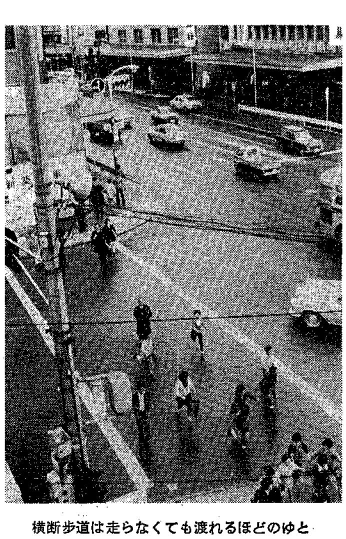
いまこの間にも、どこかでだれかが交通事故にあっているかもしれない。そしてそのために、多くの人が苦しみ、悲しんでいる。このままではいけない。

事故がおきないよう父兄や多くの方々がぼくたちを守ってくれるが、大人だけががんばっても事故は防げない。ぼくたちもみずから事故防止に努めなければならない。

ボールを追って道路に飛び出してはねられたり、自転車の二人乗りをやってハンドルをとられたり横断歩道を正しく渡らなかったり――このようなルール違反は絶対にやりません。

めんどうくさがって、ちょっとぐらいなら、とルール違反をしたばっかりに、生命を落とすことはつまらないことだ。いつかは、ルール違反なんて、そんなことは出来ないーとみんなが考える、そんな世の中にしたいものだ。

家ぐるみ、町ぐるみ、そして歩行者と運転者、大人と子供みんなが一体となって一日も早く事故をなくすよう努力しよう。



横断歩道は走らなくても渡れるほどのゆとりを持ちましょう―市役所前西堀交差点で

子供に生命の大切さを

婦人代表（上大川前3）　寺山昌子さん

交通事故の中で子供と老人の事故が多いとのこと、日夜身辺を気づかう主婦の立場として、ことに子を持つ親として、これ以上どうすればよいのだろうか？

わたくしも子供が満二歳の時に車にぶつかるという事故にあった。それ以来、子供の登下校、また遊びにいっている時、一番心配なのが交通事故のことだ。保育園に通っている子は、車などなければよい、とまじめな顔をして友だちと話しあっている。こんな幼い子供の話しを聞くにつけ、暴走する車を一日も早く追放しなければならないといういらだたしさを感ぜずにはいられない。

運転者も歩行者も同じ人間同志だ。事故を起こそうと思っている人は一人もいない。事故をぼく滅する心がけを強くすれば必ず防げる。

幼児に対しては親の責任としてこれを守り、子供に対しては、やがてハンドルを握るであろうその日のために、生命の大切さをおりにふれて教えていくことが主婦の役目だと思う。

激発する事故にブレーキを

交通安全推進者代表（小新）　弦巻勝也さん

私どもは人命尊重という立場に立って、悲そうな決意をして対処していかなければならないと自覚している。きょうもどこかで事故が起きているのではないか、と気のやすまることがない。

われわれの指導、保護活動は非常に難かしく、適切な判断が要求される。しかしわれわれを勇気づけてくれることは、社会のために役立っている、ということと、われわれの行為が事故を少しでも少なくするためのブレーキの役目を果たしている、ということだ。

毎日毎日が交通事故ゼロの日であるようわれわれも働きます。市民総ぐるみでがんばろう。

交通安全

あなたの胸に私の胸にも

交通安全バッジのデザイン―バッジは今月末に完成します

信頼される運転者に

職域代表（新潟交通）　本間昭三郎さん

交通事故は[illegible]信じてはいるものの、交通事情は一段と緊張度を増している。われわれハンドルを握る者にとって、一瞬の油断も許されるものではない。

このような自覚のもとに自動車を操作しているのであるが、事故が年々増加しているのは残念だ。事故は運転者に多くの責任があるといわれているが、この汚名を返上することが、われわれ運転者にとって最大の使命である。

市内の運転免許保有者十二万人に対して、安全運転への認識を強く要望するものである。もとより運転者に要求されることは、たゆまざる研鑽、努力であり、人間の生命を尊重する人間愛である。

運転技術を過信しない、ちょっとぐらいの違反はいいだろう、という「だろう運転」は絶対にしないーなどを実践し、安全運転を一層心がけることを誓う。

地域ぐるみで退治を

ねずみ駆除運動　11/10～12/10

十一月十日から十二月十日までの一カ月間は、全市一斉ねずみ駆除運動月間です。

市はこの期間に❶ねずみ駆除相談室の開設❷地域ぐるみの共同駆除に捕そ器の貸し出しと指導員の派遣❸駆除に優秀な成績をおさめた町内と個人の表彰――などの行事を行ないます。

ねずみの棲息数は人口の三倍といわれています。これからいくと市内に百二十万匹近くいる勘定になります。ねずみの害は衛生上の被害、農水産物の被害、林野の被害、商品の被害―など数えあげればきりがありません。

市内でねずみに食い荒らされる食物の量は、米にたとえて計算してみると、一俵（六十キロ）に換算して、なんと年間五万四千俵以上になります。

ねずみを退治するには、まず何といっても食物を与えないことです。ねずみは一日何も食べないと三日位で餓死します。次に、ねずみは繁殖力が強いため、一軒だけが退治をしてもすぐ発生します。必ず地域一斉に行なうことが必要です。

〈ねずみ駆除相談場所〉

相談所	場所	電話
衛生課虫疫係	東総合庁舎5階	44−1111番
〃　東分室	〃　1階	44−1111番
〃松浜分室	北地区事務所内	59−2721番
〃　西分室	汐見台	65−0014番
〃内野分室	西地区事務所内	62−3111番

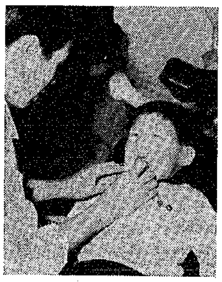
赤ちゃんコンテスト

――入賞者――

去る十月二十三日、二十四日に行なわれた三歳児、赤ちゃんコンテストの入賞者が次のとおり決まりました。おめでとうございました。なお、十一月五日西保健所で表彰式を行ない、入賞者に市長から記念品が贈呈されます。

☆三歳児　一位―▽高橋輝昌（上所島）▽松木一弘（青山）▽本間久美子（笹口）▽中村有希（青山浦山）　二位―▽坂井浩章（沼垂西一）▽津村健二（浜浦町一）▽石井聖子（明石二）▽坂口朱美（真砂町）

☆赤ちゃん　十月生まれ―▽神田淳一（秋葉町二）▽木村直人（西堀通八）▽相沢けい子（紫竹）▽梨本晶代（有明台）　**十一月生まれ**―▽豊島和浩（笹口）▽小林康弘（白山浦二）▽白川陽子（牡丹山）▽佐々木浩美（小針藤山）　**十二月生まれ**―▽清水健一郎（上所島）▽佐野俊紀（関屋一）▽大下江美子（臨海町）▽大越麻里子（真砂町）　**一月生まれ**―▽渡辺明彦（河渡丁）▽氏原耕太（坂井）▽古泉恭子（上所島）▽中村匠子（湊町三）　**二月生まれ**―▽近藤力（長潟）▽樋口斉紀（内野）▽山田和美（牡丹山）▽白井優子（小針村中）　**三月生まれ**―▽沖山京（河渡）▽佐野英樹（鋳町）▽増子小百合（日ノ出三）▽大久保里子（白山浦二）―以上敬称略



はい！ 口を大きくあけて
―審査の一つ 歯の検査―

市政雑感

信長の心

新潟市長　渡辺浩太郎

○…最近、全国港湾協会の会議があって久しぶりに名古屋市を訪ずれた。全国三番目の大都市であることはだれもが知っているが、東海道新幹線が開通してから東京、大阪にはさまれて市勢の逆流現象（市の勢力が流失してゆく）が起きていると聞いていた。古くは上方と江戸の中間という立地条件の中で花やかな首都の史実をひっそり横目で見つめていたことかもしれない。

○…新潟もやがて東京と結ぶ上越新幹線がお目見えするというのに、はてさて「逆流現象とは、どんなものか？」と他人ごとでない気持ちで私は名古屋市内に立ったことである。最初の実感は正直いって「なんと活気のあるまちか」と思った。逆流現象で伸びは横バイという先入観は吹っとんだ。すばらしい建て物、整理された市街地は東京、大阪と違った意味での日本の都市の顔であった。

○…一昨年、日本で三番目のコンテナヤードを建設し港への熱意は非常に積極的だ。外国貿易も年間六千万トン（新潟七百万トン）に上ぼり、いまや横浜、神戸を追い越す気配であり、古い伝統を誇る明治開港の五港も顔色なしといったところだ。

広い道路は日本一だが、その一角に、聞いたことのない人の銅像があった。港湾の仕事をしていた人で、それこそ頑固一点張り、他人にバカといわれながら、港のためその生涯を捧げたのだという。名古屋にとって〝港の父〟といわれる人らしい。

私はふと戦国の巨将織田信長を思い浮かべた。尾張に生まれた信長の心は、いまなお、名古屋市民の間に生きていた。激変の現代、名古屋市は首都にもめげず日本列島の真ん中に厳然と伸展してゆくと私はしみじみ感じた。

タンパク質のもと必須アミノ酸
L―リジン入り食パン
キング★スター
厚生省許可 特殊栄養食品
KING STAR
Sanshin
三信食品工業株式会社
新潟市寺尾　TEL(0252) 69―2035・2702

畠野産婦人科
電話47―3536
はたの薬局
電話47―9447
新潟駅うら　笹口交番隣
バス停笹口(弁天線又は蓮潟線)

結婚式は――
白山會館
新潟総鎮守白山神社結婚式場　新潟市一番堀通1の1
☎28―2977

家づくり決心!!
〈住宅ローン〉が
おてつだい
縣信用
住宅ローン
いますぐマイホームの夢がかなう
いつも気軽な私たちの銀行
新潟縣信用組合

マルヨネ自転車
スポーツ車・軽快車
実用車・ミニサイクル
販売店
イトエー
新潟市沼垂東　4−9−17　TEL44−6936

県下第一の設備と陣容
●普通第1種●普通第2種
●大型第1種●大型持殊
●身体障害者専門教習科
市内・郊外
スクール
バス運行
新潟県中央自動車学校
模擬運転装置
無線装置で
早く完全な技術が
マスターされます。
新潟駅裏　TEL47―5201